

いきいきバス通信

酒生地域コミュニティバス
運行協議会会報1号
発行：平成29年7月15日
：酒生地域コミュニテ
ィバス運行協議会

コミュニティバスのすすめ

みなさん、コミュニティバスに乗ったことはありますか。実は、結構使いやすいんです。

まず、そのルートを説明します。基本的に赤ルートと青ルートがあります。青ルートは、通院に便利なルートです。基本的な停留所である済生会、有塚医院、東部プラザの他に、くわばら皮膚科クリニック、斉藤眼科、御幸歯科クリニックを回ります。Aコープみゆき店にも行きますので、東部ハニーでは物足らない人にはここまで足を延ばしても良いでしょう。

赤ルートは、荒木、曾万布、神明を通過して済生会、有塚医院、東部プラザへ行くルートです。稲津や梅野の人は利用できませんが、走る距離が少ない分、短時間で済生会や東部プラザへ到達できる利点があります。

シマシマルートは東郷を回るルートです。1

2月から3月までの限定期間で朝夕1本ずつです。越美北線との連絡も可能ですので、時間があれば大野や九頭竜方面へ一日遊びに出かけるのも面白いかもしれません。

その他に、バスを乗り継いで、福井駅前へ出る方法があります。済生会、東部プラザをバスターミナルのようにして、そこから市内バスに乗り換えます。済生会からは230円、東部プラザからは210円で駅前まで出ることが出来ます。乗り継ぎ時間が考慮されていますのでそれほど待たなくても乗れます。料金的にも路線バスより安くなるはずですよ。

それから、言い忘れましたが、コミュニティバスは誰でも1回100円で利用できます。回数券を利用すれば、千円で11枚つづりが買えるので、何と、1回当たり91円になります。今の時代にこんな

に安い乗り



物は他にはありません。ぜひ一度ご利用ください。

集落をこまめに回るバス

コミュニティバスを利用したことがありますか。回るコースが結構面白いんです。青ルートでは、篠尾、成願寺、荒木新保では路線バスと同じ県道を通りますが、稲津町と梅野町は集落の中をこまめに回っています。稲津では県木材市場から入って圓照寺や浄行寺、梅野では熊野神社や善導寺を通ります。他の集落の人にとっては初めて通る道かも知れません。酒生地区に長く住んでいても、知らない場所が結構あるんですね。ちよつとした酒生地区内周遊観光バスのようなつもりで楽しめませうよ。

車窓から見える畑のおばちゃんや玄関先で話をしていられるお年寄りなども新鮮に映りました。普段、自分で車を運転しながら見る景色とはまた違って、面白いものですよ。

歩きと組み合わせ

行きはバスで帰りはウォーキング。または、行きは歩いて帰りはバスに乗る。こんな使い方もあります。最近では、健康に気を使う人が増えています。朝夕に、ジョギングをしたりウォーキングをしたりする人を見かけますが、実は、

コミュニティバスを利用すると行動範囲が大幅に広がります。例えば、自宅から1時間歩くとして、半径2キロまでしか行けません、バスなら倍の4キロに伸びます。この距離なら、ほぼ



酒生地区のすべてをカバーします。稲津や梅野、荒木新保の人が高尾町の薬師神社の亭の水を訪れてみたり、篠尾口で降りて朝倉氏遺跡を探索したりするのも夢ではありません。ジョギングやウォーキングの帰りの手段として、あるいは、酒生探索の道具として、ぜひ、1000円玉一つ用意して、コミュニティバスに乗ってみてください。

運行協議会について

今年からコミュニティバス運行協議会の運営を酒生地区自治会連合会が行うことになりました。発足以来、会長の桜川氏を初め各事務局

や関係者の方々のご尽力により、今日までやってきました。しかし、10年余りを経過し、コミュニティバス事業もある程度安定してきたことから、自治会連合会に協議会業務が移行することになりました。今まで関係された方々、どうもお疲れさまでした。

今年から、各集落の自治会長が運行協議会の理事を兼ねることになりました。コミュニティバスのことで、気が付いたことや利用についてのアイデアなどがありましたら、お気軽に近くの自治会長にご相談ください。自治会連合会の例会は毎月開催しますので、迅速に対応が出来ると考えています。

なお、事務局の連絡先は従来と変わらず酒生公民館になります。時刻表及びコース図なども公民館に置いてありますのでご利用ください。

利用団体に5000円を助成します

コミュニティバスの利用促進の一つとして、子供会や婦人会、老人会等がコミュニティバスを利用して団体の行事を行った場合、5000円を限度に利用助成をしています。人数が10人以上で、簡単な利用計画や事業報告書が必要です。実施要領やチラシ、それに当日の写真でも代用できます。詳しくは事前に自治会長あるいは公民館までお問い合わせください。

運転をやめてバスに乘ろう

運転免許返納者を支援します

近年、社会の高齢化に伴い、高齢者の交通事故が問題になっています。長年運転を続けて自信があっても、注意力が散漫になったり運動神経が劣ってきたりしているはずです。車のかすり傷が増えた人や「ヒヤリ」や「ハット」するところが最近多いと感じる人は、そろそろ運転の限界かも知れません。大きな事故を起こす前に、勇気をもって免許を返納してはどうでしょうか。コミュニティバス運行協議会では、高齢者の運転免許返納を応援しています。運転免許を返納した方に、1万円分のバスチケットをお渡しします。

手続きとしては、運転免許センターや警察署で返納の申請をして、運転免許取り消し通知書をもたらせてきてください。あとは、酒生公民館へ申請していただければ結構です。後日、自治会長がチケットをお届けします。6月から始めた事業ですが、既に2名の方が返納の申し出があり、チケットをお渡ししたところです。他にも市の地域交通課(本館6階)へ行けば、2000円のバスチケットとタクシー割引証ももらえますので合わせてご利用ください。

では、また。